

2018

中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日



Clutch technology
for the world.



F.C.C.のレースチームが日本史上初の快挙!

ご声援ありがとうございました!



ごあいさつ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。2018年度第2四半期の事業内容を報告するにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は889億16百万円(前年同期比8.5%増)となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり89億15百万円(前年同期比33.9%増)となりました。税引前四半期利益は97億88百万円(前年同期比32.6%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は67億52百万円(前年同期比42.3%増)となりました。

中間配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し1株当たり23円、前年同期に比べ2円の増配とさせていただきます。

今後の経営環境は、燃費規制への対応や電動化技術の進展に伴い、自動車業界のみならず、他業界を含めたグローバルな競争はますます激しくなっていくものと思われませんが、2017年度を初年度とする第10次中期経営計画を確実に実行し、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申しあげます。

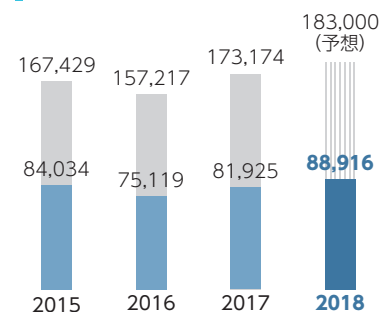
2018年11月



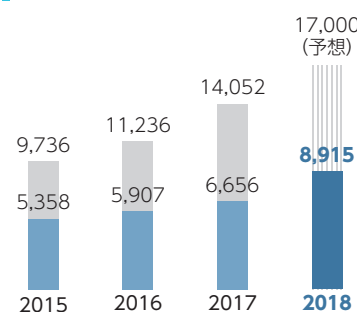
代表取締役社長

松田年真

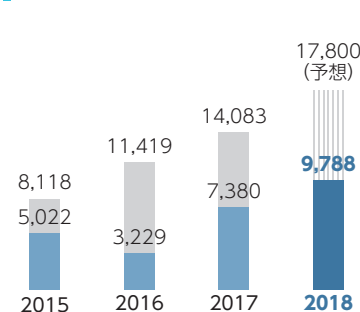
売上収益(百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期



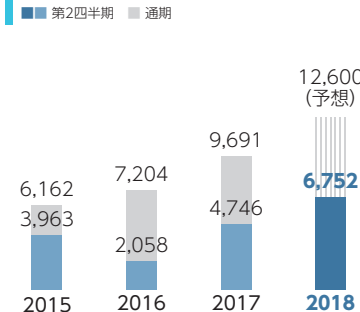
営業利益(百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期



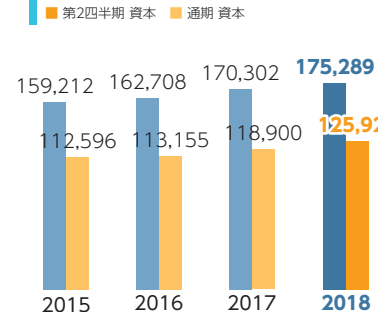
税引前利益(百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期



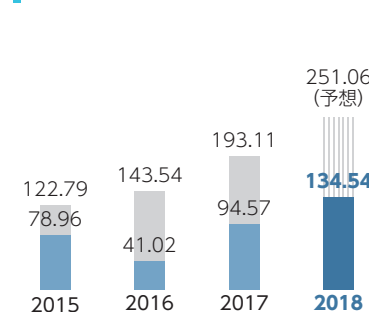
親会社の所有者に帰属する
四半期(当期)利益(百万円)
■ 第2四半期 ■ 通期

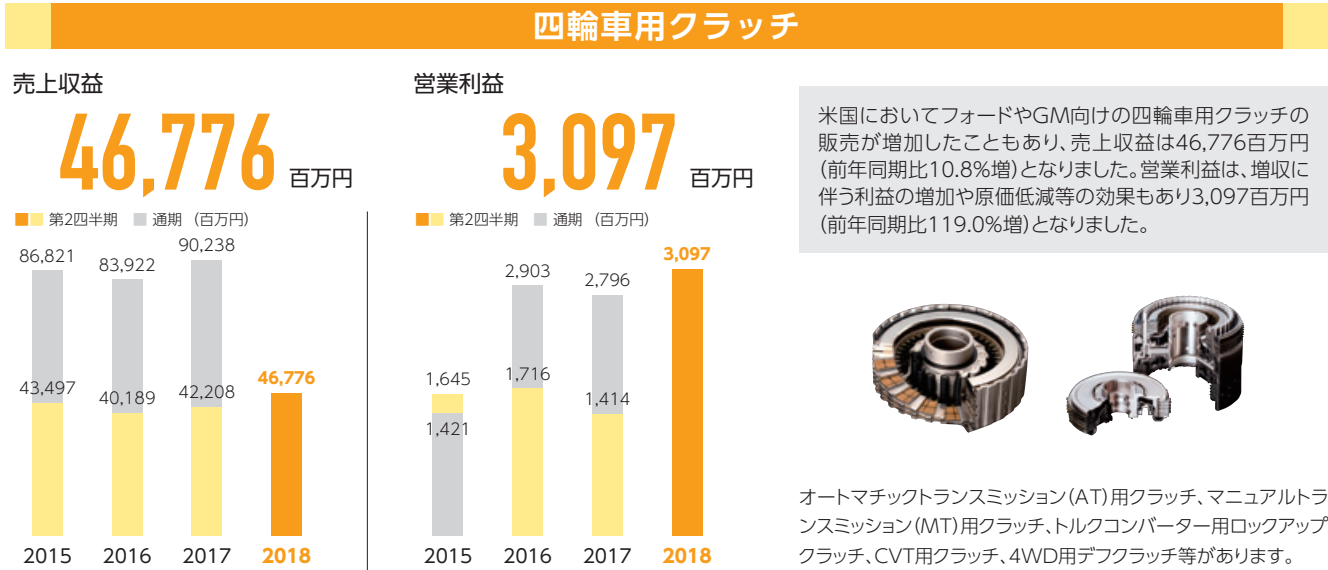
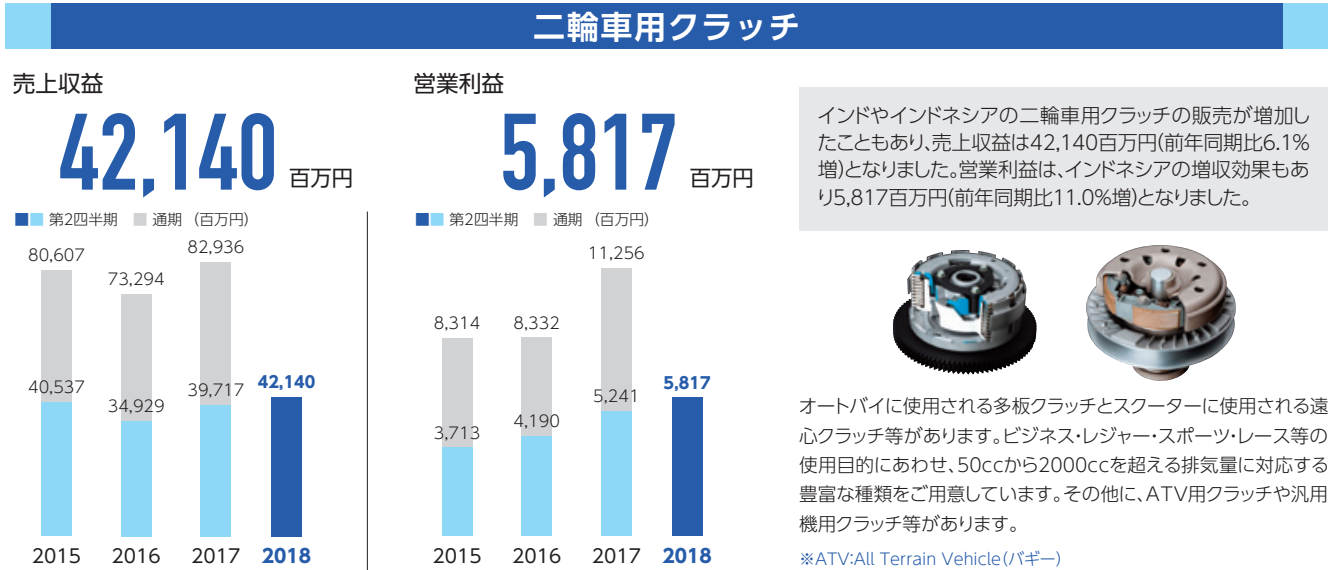


資産/資本(百万円)
■ 第2四半期 資産 ■ 通期 資産
■ 第2四半期 資本 ■ 通期 資本



基本的1株当たり四半期(当期)利益(円)
■ 第2四半期 ■ 通期





F.C.C.TSR Honda France FIM世界耐久選手権

世界チャンピオン獲得! 日本チーム史上初の快挙!

F.C.C.TSR Honda France は世界耐久選手権参戦3年目となった2017-2018シーズンにおいて耐久レースの聖地、フランスのル・マン24時間で初優勝を飾ると、スロバキアリング8時間で3位、ドイツのオッシャースレーベン8時間で優勝しました。

ランキングトップで迎えた、最終戦となる鈴鹿8時間では、世界チャンピオンを争うライバルチームの猛追を受け一時先行を許すものの、再び抜き返し5位でフィニッシュしました。

この結果、日本チーム史上初の快挙となる世界チャンピオンを獲得しました。ご声援、誠にありがとうございました。



FIM世界耐久選手権 2017-2018シーズン戦績	第1戦	2017年9月	ボルドール24時間耐久レース	6位
	第2戦	2018年4月	ル・マン24時間耐久レース	優勝
	第3戦	2018年5月	スロバキアリング8時間耐久レース	3位
第4戦 2018年6月 オッシャースレーベン8時間耐久レース 優勝				
第5戦 2018年7月 鈴鹿8時間耐久レース 5位				
計5戦の獲得ポイント合計で総合首位となり世界チャンピオン獲得!				



「F.C.C.×TSR」エフ・シー・シー公式レース情報サイト

2017-2018シリーズ世界耐久選手権(EWC)の情報や、F.C.C.ピットクルーへのインタビューなど、F.C.C. TSR Honda Franceのレース情報はこちらのサイトで随時発信中です。

<https://www.fcc-net.co.jp/fccrace/>



SUBARUから新規受注獲得 トヨタ・現代は受注拡大へ

当社は、初のSUBARU向けとして、大容量CVT用ドライブプレートを受注しました。また、トヨタ自動車向けは、FF8速AT用クラッチアセンブリーを日本国内に続き米国でも受注し、現代自動車向けはFF8速AT大容量用クラッチディスクに続き中容量用およびCVT用クラッチディスクを受注しました。今後も各社との関係を強化し、更なる取引拡大に努めてまいります。

SUBARU	
納入品目	大容量CVT用ドライブプレート
生産開始時期	2018年3月

世界に羽ばたく

F.C.C.のネットワーク

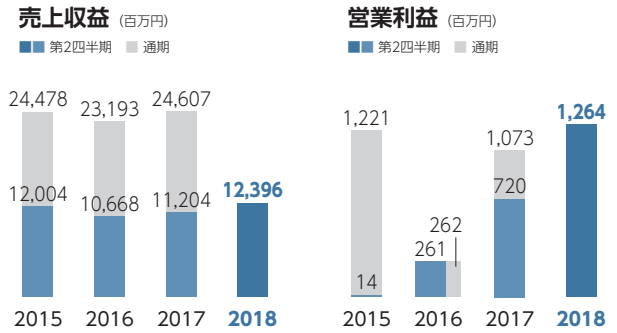
1988年、ジェイテックインコーポレイテッド※(米国インディアナ州)の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14社、22生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティー、ローコストな製品づくりを目指しています。

これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術の高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

※ 現 FCC(INDIANA), LLC.

日本

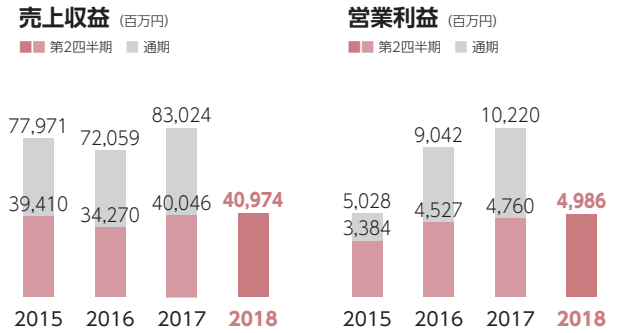
Japan



二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は12,396百万円(前年同期比10.6%増)となりました。営業利益は、原価低減等の効果もあり1,264百万円(前年同期比75.5%増)となりました。

アジア

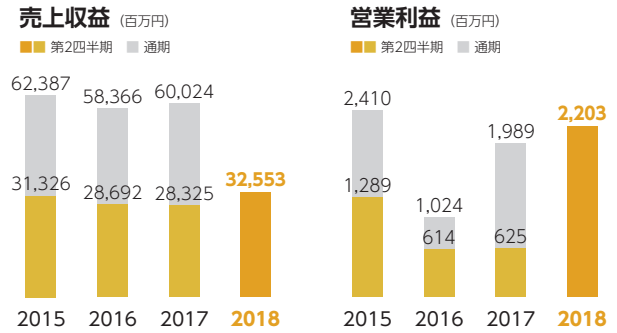
Asia



中国の長安フォード向けの四輪車用クラッチの販売が減少したものの、インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は40,974百万円(前年同期比2.3%増)となりました。営業利益は、インドネシアの増収効果もあり4,986百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

米国

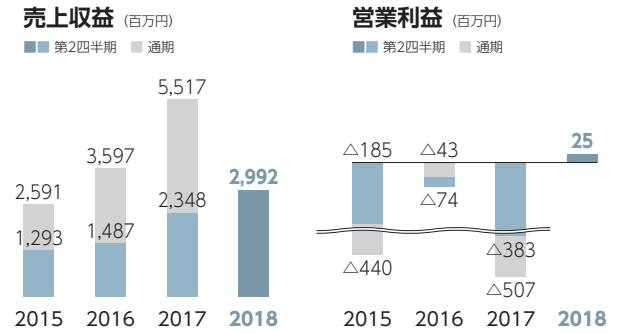
America



フォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は32,553百万円(前年同期比14.9%増)となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり2,203百万円(前年同期比252.3%増)となりました。

その他

Others



メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は2,992百万円(前年同期比27.4%増)となりました。営業利益は、メキシコの収益性改善等もあり25百万円(前年同期は383百万円の営業損失)となりました。



要約四半期連結財政状態計算書

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	25,230	26,673
営業債権及びその他の債権	28,855	29,101
その他の金融資産	2,339	1,905
棚卸資産	18,428	20,084
その他の流動資産	2,038	2,349
流動資産合計	76,892	80,114
非流動資産		
有形固定資産	72,942	74,633
のれん及び無形資産	4,396	4,631
持分法で会計処理されている投資	117	104
その他の金融資産	12,561	12,423
繰延税金資産	2,734	2,756
その他の非流動資産	657	625
非流動資産合計	93,410	95,174
資産合計	170,302	175,289

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16,044	14,251
借入金	16,179	14,886
その他の金融負債	128	142
未払法人所得税	2,784	2,842
その他の流動負債	6,006	6,273
流動負債合計	41,143	38,395
非流動負債		
借入金	365	85
その他の金融負債	448	654
退職給付に係る負債	2,027	2,050
引当金	33	33
繰延税金負債	7,086	7,849
その他の非流動負債	297	295
非流動負債合計	10,258	10,967
負債合計	51,402	49,363
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	112,828	118,513
自己株式	△3,409	△3,409
その他の資本の構成要素	3,716	5,056
親会社の所有者に帰属する持分合計	117,311	124,336
非支配持分	1,589	1,588
資本合計	118,900	125,925
負債及び資本合計	170,302	175,289

要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
売上収益	81,925	88,916
売上原価	△68,185	△72,783
売上総利益	13,739	16,132
販売費及び一般管理費	△7,330	△7,652
その他の収益	406	564
その他の費用	△159	△129
営業利益	6,656	8,915
金融収益	835	1,179
金融費用	△106	△299
持分法による投資損益	△4	△6
税引前四半期利益	7,380	9,788
法人所得税費用	△2,528	△2,940
四半期利益	4,851	6,847
四半期利益の帰属 親会社の所有者 非支配持分	4,746 105	6,752 95
四半期利益	4,851	6,847
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属) 基本的1株当たり四半期利益(円) 希薄化後1株当たり四半期利益(円)	94.57 —	134.54 —

2018年度(2019年3月期)の連結業績予想

売上収益	1,830億円(前期比 5.7%増)
営業利益	170億円(前期比 21.0%増)
税引前利益	178億円(前期比 26.4%増)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	126億円(前期比 30.0%増)
基本的1株当たり 当期利益	251.06円

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,759	10,317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,193	△5,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,382	△3,326
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	183	1,094
現金及び現金同等物の期首残高	23,474	25,230
現金及び現金同等物に係る 換算差額	190	348
現金及び現金同等物の 四半期末残高	23,848	26,673

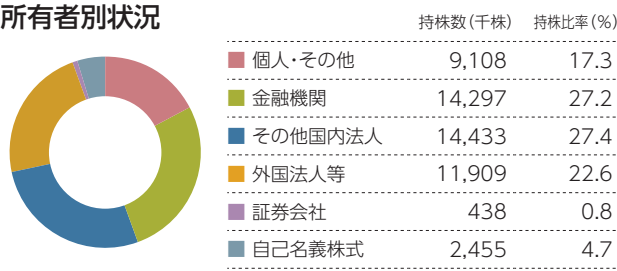
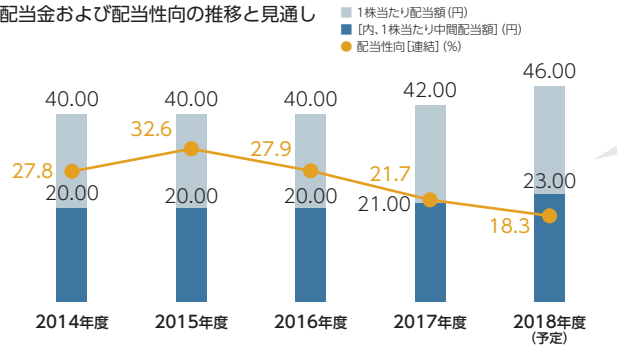


株式の状況	2018年9月30日現在
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	14,339名
単元株式数	100株
証券コード	7296

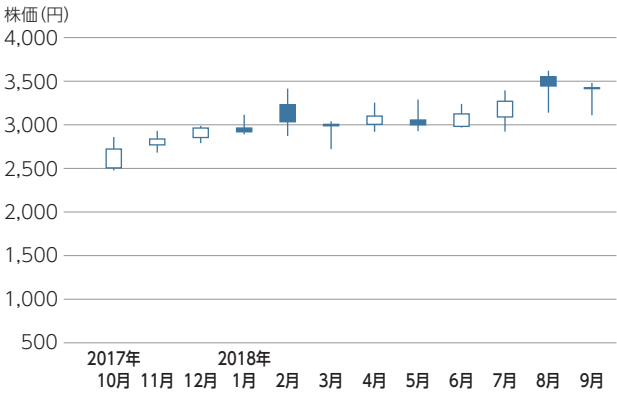
大株主(上位10名)		2018年9月30日現在	
		持株数(千株)	出資比率
1	本田技研工業株式会社	10,881	21.7%
2	株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,508	5.0%
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,401	4.8%
4	株式会社ワイ・エー	2,019	4.0%
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,568	3.1%
6	山本 佳英	1,525	3.0%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,402	2.8%
8	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,315	2.6%
9	山本 恵以	1,300	2.6%
10	全国共済農業協同組合連合会	1,206	2.4%

(注) 1. 当社は自己株式を2,455,945株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

配当政策および配当金



株価の推移



[配当政策]
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

[配当金]
本年10月31日開催の取締役会の決議により、当期の中間配当金を1株当たり23円とさせていただきますことになりました。

会社概要

商 号	株式会社エフ・シー・シー (英文:F.C.C. CO.,LTD.)
本 社	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 TEL:053-523-2400(代)
資 本 金	41億75百万円
代 表 者	代表取締役社長 松田年真
設 立	1939年(昭和14年)6月
従 業 員 数	8,797名(連結) 2018年9月30日現在
事 業 内 容	二輪車および四輪車のクラッチならびに その他の部品の製造販売

役 員	2018年9月30日現在
代 表 取 締 役 社 長	松 田 年 真
専 務 取 締 役	斎 藤 善 敬
常 務 取 締 役	糸 永 和 広
常 務 取 締 役	鈴 木 一 人
取 締 役	西 村 輝 文
取 締 役	松 本 隆 次 郎
取 締 役	向 山 敦 浩
取 締 役	中 谷 賢 史
取 締 役	後 藤 智 行
取締役 常勤監査等委員	深 津 克 好
取締役 監 査 等 委 員	辻 慶 典
取締役 監 査 等 委 員	佐 藤 雅 秀
取締役 監 査 等 委 員	杉 山 一 統

辻 慶典、佐藤雅秀および杉山一統の各氏は、社外取締役であります。

主な子会社

[国内生産会社]		
(株)九州エフ・シー・シー		天龍産業(株)
東北化工(株)		(株)フリント
[海外生産会社]		
FCC(INDIANA), LLC.	[米国]	FCC(North Carolina), LLC. [米国]
FCC(Adams), LLC.	[米国]	FCC(THAILAND) CO., LTD. [タイ]
FCC(PHILIPPINES) CORP.	[フィリピン]	成都永華富士離合器有限公司 [中国]
上海中瑞・富士離合器有限公司	[中国]	FCC CLUTCH INDIA PRIVATE LTD. [インド]
PT. FCC INDONESIA	[インドネシア]	台灣富士離合器股份有限公司 [台湾]
FCC DO BRASIL LTDA.	[ブラジル]	佛山富士離合器有限公司 [中国]
FCC(VIETNAM) CO., LTD.	[ベトナム]	FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V. [メキシコ]
[持株会社・統括会社]		
FCC(North America), INC.	[米国]	愛富士士(中国)投資有限公司 [中国]

事業所所在地

本 社	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技 術 研 究 所	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
浜 北 工 場	〒434-0046 静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
渡 ケ 島 工 場	〒431-3423 静岡県浜松市天竜区渡ケ島1500番地
鈴 鹿 工 場	〒510-0261 三重県鈴鹿市御園町5421番地
東京オフィス	〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1丁目1番5号 金子ビル1階
大阪オフィス	〒563-0046 大阪府池田市姫室町1番1号 池田YMビル402
栃木オフィス	〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの社1丁目5番40号 とちぎ産業創造プラザ内102

F.C.C. YouTube公式
チャンネルのご案内

「人と世界をつなげるストーリー」

Web限定ムービーを
公開中です。

QRコードからアクセス!



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により行います
定時株主総会	6月	ホームページアドレス	http://www.fcc-net.co.jp/
剰余金の配当基準日	3月31日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号
	中間配当を実施する場合 9月30日	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
単元株式数	100株		

お取引窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取引店	みずほ証券およびみずほ信託銀行(※) フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※) 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

【配当金計算書について】

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

株主優待制度について

株主優待制度の内容

- (1) 対象となる株主様
毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された200株以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。

(2) 贈呈品

	贈呈品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月中旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	12月中旬から下旬

※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。



株式会社 エフ・シー・シー

本社 〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
TEL (053) 523-2400 (代) FAX (053) 523-2405
<http://www.fcc-net.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。